

わくわく

1月号

本だな

1 2 3 年



E 『石ころのスープ トルコのおはなし』
 ジュディス・マリカ・リバーマン／文 ゼイネップ・オザタライ／絵
 こだまともこ／訳 光村教育図書

けちんぼうばかりがすむ村に、たびびとがやってきました。たびびとは村の人にたべものをわけてほしいとたのみますが、ことわられてしまいます。するとたびびとは、「わたしがごちそうしてあげましょう」といって、石ころでスープをつくりはじめました。

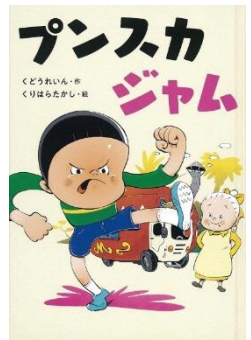
えほん

K913 『プンスカジャム』

くどうれいん／作 くりはらたかし／絵 福音館書店

ハルクんが、むしゃくしゃしながら道をおいてみると、ふしぎな車をみつけました。のれんには、「あなたのプンスカ、ジャムにします」とかいてあります。ハルクんが、エプロンをしたおばあさんによばれて車にはいると、なんと中はパンやさんになっていました。

ものがたり



K913 『たんていいくまたろう』

さかまきゆか／作 あかね書房

たんていやのくまたろうのいえに、うさぎがやってきました。だれかが、うさぎのいえのまえに白いはこをおいていったそうです。はこの中には、バスの時こく表、赤いつつみ紙、タンポポがはいっていました。いったいだれが、なんのためにおいたのでしょうか。

ものがたり

E 『スパキーとスパイク』

バーバラ・ロウエル／ぶん ダン・アンドレイアセン／え
 ひさやまたいち／やく 評論社

スパキーは、くろいぶちのあるスパイクという犬をかっていました。スパイクはとてもかっこいい犬で、にんげんのことばを50いじょうも知っているのです。

スヌーピーのモデルになった犬の、ほんとうにあったおはなしです。

ちしきのほん



わ

く

わ

く

1月号



本だな

4

5

6

年



物語



K933 『オンボロやしきの人形たち』

フランシス・ホジソン・バーネット／作 平澤朋子／絵

尾崎愛子／訳 徳間書店

ある女の子のへやに〈オンボロやしき〉とよばれる、古い人形の家がありました。中では、見た目はボロボロだけど気のいい人形たちが、毎日楽しくくらししていました。

そんなある日、女の子のもとにぴかぴかの家ときれいな人形たちがやってきました。〈オンボロやしき〉はへやのすみっこにおいやられて、すてられそうになってしまいます。

物語

K913 『天の台所』

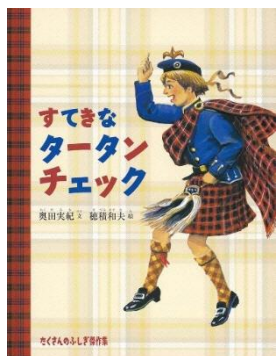
落合由佳／著 講談社

おいしいごはんを作ってくれるばあちゃんが亡くなり、天は、お父さん、弟、妹の四人家族になりました。買ってきたお弁当やおそうざいばかり食べていましたが、ふとしたことから近所の〈がみババ〉から料理を習うことになります。

もうすぐ妹の誕生日。天は、「甘くて、栄養たっぷりで、簡単に作れる」ケーキをがみババから教わることにしました。



ちしきの本



K753 『すてきなタータンチェック』

奥田実紀／文 穂積和夫／絵 福音館書店

タータンは、スコットランドの民族衣装に使われている伝統的な模様です。ところが、世界にはスコットランド以外にも、それぞれの国で認められた公式のタータンがたくさんあるそうです。どうして世界中でつくられているのでしょうか。

タータンの種類や歴史、デザインのルールについてしょうかいます。

図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200